

日本伝熱学会関西支部 第23期 第3回講演討論会
(日本伝熱学会 熱流体イノベーション研究会との合同企画)

日時：2016年12月22日(木) 13:30 - 16:50

会場：神戸大学六甲台第二キャンパス 瀧川記念学術交流会館 大会議室
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

13:30 - 14:15 木村文義 氏 (兵庫県立大学大学院工学研究科)

題目：水平加熱正方形角柱まわりの自然対流

概要：柱状物体まわりに生じる自然対流のうち、意外にも解明が進んでいない水平加熱正方形角柱まわりの自然対流の流動・伝熱特性について、広いレイリー数の範囲で可視化実験および伝熱実験により検討した結果を紹介する。

14:15 - 15:00 井上智嗣 氏 (ダイキン工業株式会社 テクノロジーイノベーションセンター)

題目：ヒートポンプ空調機向けマイクロチャネルの性能最適化に関する研究

概要：環境負荷低減を目的とした空調機の省エネ化を実現する手段として、熱交換器の高性能化が求められている。その方法の一つとして、従来のフィンチューブ式熱交換器からマイクロチャネル熱交換器への置換が進められている。本稿では、さらなる高性能化を実現するマイクロチャネル熱交換器の複数列化を行う場合のパス構成について検討を行った。

15:00 - 15:20 休憩

15:20 - 16:05 鈴木崇弘 氏 (大阪大学大学院工学研究科)

題目：固体高分子形燃料電池電極の構造形成と性能に関わる物質輸送現象

概要：固体高分子形燃料電池の電極は、触媒、電子伝導材料、プロトン伝導材料及び空隙がナノ・マイクロスケールでの分布を有する複雑な多孔体である。電極内部の物質輸送が電池性能に影響を及ぼすため、高性能化に向けて構造の制御が求められる。本講演では、電極の構造形成と性能に関わる物質輸送現象に関する研究を紹介する。

16:05 - 16:50 福留功二 氏 (立命館大学理工学部)

題目：平行平板間流れにおける大規模間欠構造の発生とその熱流動特性

概要：平行平板間流れにおいて、レイノルズ数を乱流の遷移域まで低下させると、乱れの多い乱流と乱れの少ない準層流が共存する大規模間欠構造が発生する。講演では、この間欠構造の熱流動特性について紹介する。

17:30 - 19:30 意見交換会

会場：神戸大学六甲台第二キャンパス 瀧川記念学術交流会館食堂

会費：4500円

講演会・意見交換会のご出席を京都大学 岸本将史 (kishimoto.masashi.3m@kyoto-u.ac.jp) 宛てに

『12月13日(火)』迄にお知らせください。

神戸大学六甲台第2キャンパスアクセス

バス 阪神「御影」駅、JR「六甲道」駅、阪急「六甲」駅から神戸市バス36系統鶴甲団地行、鶴甲2丁目止
まり行き乗車「神大文理農学部前」下車、「神大本部工学部前」下車

タクシー

阪神「御影」駅より約15~20分, JR「六甲道」駅より約10~15分, 阪急「六甲」駅より約5~10分

以下のサイトのローカルマップ 100番の建物(赤い矢印参照)

<http://www.kobe-u.ac.jp/guid/access/rokko/rokkodai-dai2.html>

